

1. 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、明るく素直な児童が多い。休み時間になると元気よく遊ぶ姿が多く見られる。男女の仲はよく、グループを作る際にも男女の壁を越えて組むことができる。学級活動においては、4月に児童、保護者、担任の願いを盛り込んだ学級目標を設定した。また、学級会のオリエンテーションを行い、学級会の進め方や話し合いの約束などについて共通理解を図った。その後「学級会の名前を決めよう」「5年3組の学級の歌を作ろう」などの議題で話し合い、実践を積み重ねてきた。これらの活動を通して、児童はみんなで協力して実践する楽しさを味わい学級会の進め方も少しずつ身に付けてきた。しかし、学級会の際に友達の見解が最後まで聞けず口を挟んでしまったり、仲良しの友達の見解に流されてしまう児童も見られる。

(2) 題材設定の理由

本議題は、「林間学校などでの活動を生かして、さらに友達やクラスの絆や、団結を深めたい」という児童の思いから提案されたものである。5年3組だけのオリジナル七夕祭りをするを通して自分や友達のことを深く知るとともに、学級への所属意識を高めていく。七夕祭りを計画し、実践することを通して協力することの大切さを味わうことができるようにする。

〈本時のゴール〉

- ・仲が深まる七夕集会になるように、友達の意見を参考にしながら折衷案を考えて発言したりみんなの共感が得られるような案を出したりしている。
- ・友達の意見をよく聞き、自分の考えをもって積極的に話し合おうとしている。

2. 事前の活動

目指す児童の姿と評価方法

- ・学級生活をよりよくするために進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。
(観察)【関・意・態】
- ・計画委員の役割や話し合い活動の準備の仕方などを理解している。(観察)【知・理】
- ・5年3組七夕集会の目的にあった意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。
(学級会ノート)【思・判・実】

3. 本時の活動

目指す児童の姿

- ・仲が深まる七夕集会になるように、友達の意見を参考にしながら折衷案を考えて発言したりみんなの共感が得られるような案を出したりしている。
【思考・判断・実践】
- ・友達の意見をよく聞き、自分の考えをもって積極的に話し合おうとしている。
【関心・意欲・態度】

4. 事後の活動

目指す児童の姿と評価方法

- ・合意形成したことをもとにみんなで協力し、すすんで七夕集会の準備に取り組んでいる。
(観察)【関・意・態】
- ・祭りの目的を考え、友達と協力し責任をもって準備したり参加したりしている。
(観察・振り返りカード)【思・判・実】

児童の活動(・)及び指導上の留意点(○)

【計画委員の活動】

- 1 問題の発見
- 2 議題の選定
- 3 議題の決定
- 4 計画の作成と準備

- ・学級会の活動計画
- ・役割分担 司会 サブ司会 黒板 ノート
- ・話し合いめあての確認
- ・話し合うこと(柱)の決定
- ・学級会コーナーの掲示・ノートの作成

5 問題の意識化

○提案者の思いや願いを学級全体の共同の問題になるように、提案理由をしっかりと深めるようにする。

【学級会全体の活動】

- ・議題を決定する。
- ・学級会ノートに自分の考えを記入する
- 話し合うことや決まっていることが共通理解できるように必要に応じて助言する。
- 学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話し合いの意欲を高める。
- 「決まっていること」を明確に掲示することで話しあう上での条件を明確にする。

〈話し合いの振り返り〉
・よかった点や課題について、自己評価し、友達の良かった点やなどについても相互評価できるように助言する。
・前回の話し合いと比べての変容について話しあう。
・時間があれば、提案者に今日の話し合いの感想を述べる場を

〈解決方法等の話し合い・解決方法の決定〉
・話しあうこと①は「比べ合う」段階から進められるように、事前に短冊を背面黒板に掲示しておき、出されている意見を全員で共通理解できるようにしておく。
・司会が困ったときは、方向性を示唆する。
・自治的活動の範囲を超えそうな場合は、必要に応じて助言する。
・自分の意見に固執せず、納得したうえで考えを変えるなど、折り合いをつけることも必要であることについて助言する。

〈議題や話し合いの進め方の理解〉
・明るい雰囲気でも話し合えるように笑顔で見守る。
・計画委員や提案者と事前に打ち合わせをしっかりと行い、自信を持って進められるようにする。
・提案者の願いや思い、学級全員の問題であることを確認する。
・提案理由は、掲示資料を活用することで全員が理解し、話し合

児童の活動(・)及び指導上の留意点(○)

〈決まったことの実践〉

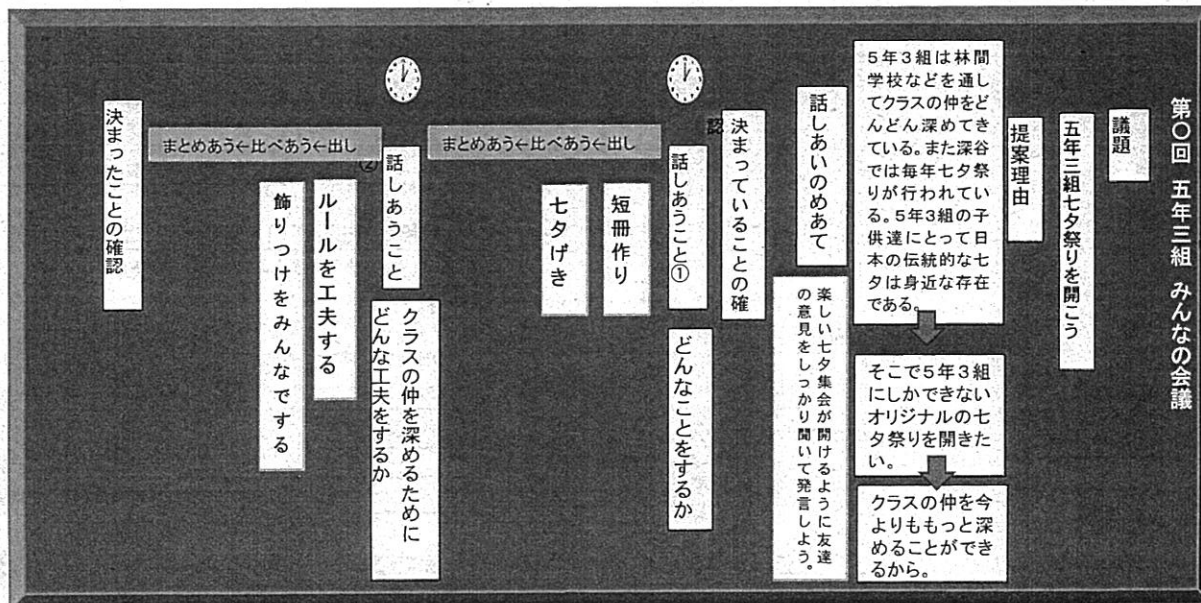
- ・決まったことを学級会コーナーに掲示する。
- ・係ごとの準備をする。
- ・係は必ず複数名で協力し準備をする。
- ・それぞれが自分の分担の短冊を作る。
- ・帰りの会などで係ごとに適宜経過を報告する。
- ・「5年3組七夕祭り」を開く。

〈振り返り〉

- ・実践活動終了後、感想を書く。
- 自分の態度を振り返るとともに、友達の良いところについても認められるように助言する。
- 協力したり工夫したりしている児童を称賛する。

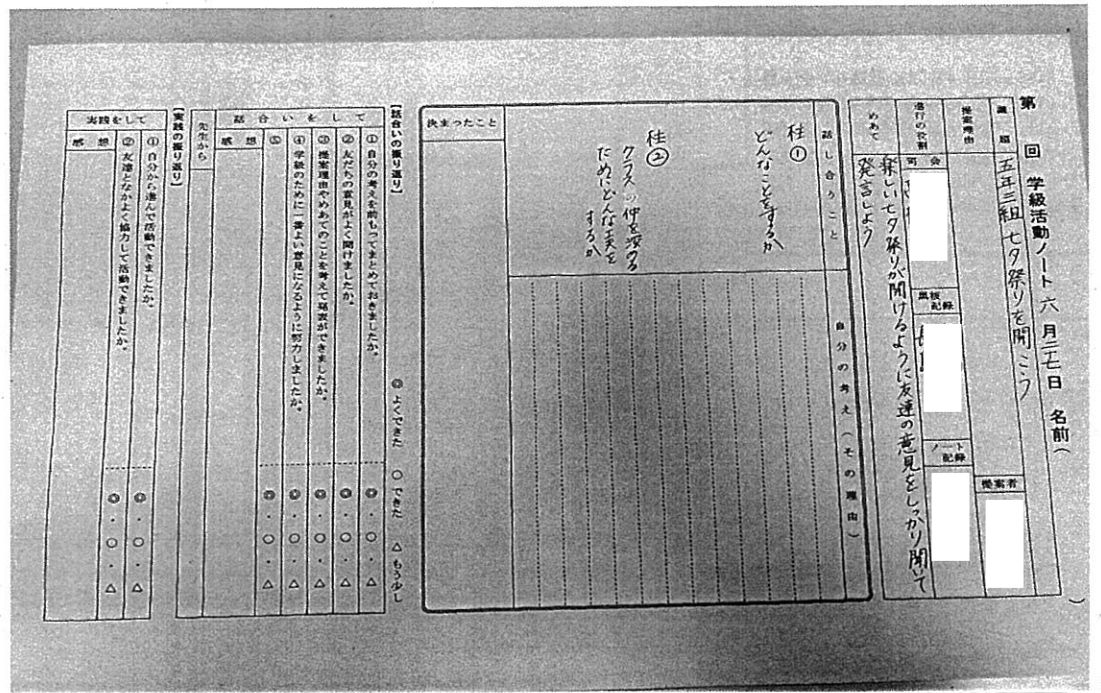
〈より良い意思決定に向けて〉

司会の進行に困ったときは、方向性を示唆する。児童の合意形成を方向付けるような助言はしない。自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いをつけることも必要であることについても助言する。少数意見にも十分耳を傾け、多様



みんなの会議 活動計画

第 回 5年3組みんなの会議 活動計画 令和元年		
議題	5年3組の七夕祭りを開こう。	
提案者		
提案理由	5年3組は仲間学校などを通してクラスの仲をどんどん深めてきている。また深谷では毎年七夕祭りが行われている。5年3組の子供達にとって日本の伝統的な七夕は身近な存在である。そこで5年3組にしかできないオリジナルの七夕祭りを開きたい。 そうすれ団、クラスの仲を今よりもっと深めることができるから。	
話し合いのめあて	楽しい七夕集いが開けるように友達の見解をしっかりと聞いて発言しよう。	
司会		
サブ司会		
黒板		
ノート		
決まっていること		
話し合いの流れ	気をつけること	時間
1 始めの言葉	はっきりと話す。	
2 歌	自慢の学級の歌を歌うことでクラスの心を一つにする。	
3 計画委員の紹介	自己紹介をして、自分のめあてを言う。	
4 議題の確認	黒板の文字を指し示す。	
5 提案理由の説明	提案文を黒板にはり返られるようにする。	
6 話し合いのめあての確認	黒板の文字を指し示す。	
7 話し合い 柱の どんなことをするか 柱の クラスの仲を深める ためにどんな工夫を するか	どんな意見でも発表できるような和やかな雰囲気をつくる。 意見を言うときは、理由をつけて発表する。なるべく多くの人をさせるようにする。 意見がそれたら、提案理由に戻る。今話し合っていることを常に意識する。 時間通りに計画を立てながら進める。	
8 決まったことの確認	ノート記録がまとめて発表する。	30秒
9 振り返り	自分のめあてにもどって頑張ったことを振り返る。	2分
10 先生の話	しっかりとした態度で聞く。	2分
11 終わりの言葉	感想をつけて気持ちよく終わりにする。	30秒



学級会ノートを使いながら一人一人が自分の意見を言えるようにしています。

